

仙台市太白山自然観察の森 情報誌2026年 8月号 No.419

森のおくいもの 8

ツルリンドウ（リンドウ科）



仙台七夕が街を彩るころ、暦の上では立秋を迎えます。まだ気温も高く、実感は薄いですが、空の雲や草花たちに秋の訪れを見つけることができます。写真のツルリンドウは、明るい林床に咲く多年生のつる植物です。淡い紫色の繊細な花が8～9月に咲き、晩秋に赤紫色の非常によく目立つ実を付けます。葉月の森で、素敵な出会いがありますように。 【館長：濱中郁子】

森のことは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします

『好事も無きに如かず（こうじもなきにしかず）』

今年の夏も非常に暑いですね。TVで最高気温が40℃の酷暑に達したというニュースを連日目にしました。特に関東より西は猛暑とゲリラ雷雨で毎日のように報道されていて、その異常さに驚愕しています。

東北南部では、梅雨明けが例年より遅れました。梅雨の最中に30℃越えの暑い日もありましたが、半ばと末期に涼しい期間がありました。涼しくて快適な気温の後の猛暑は体に堪えます。それが2回あり、涼しさからまた厳しい暑さに戻るの辛いと思いました。そんな様子を現す言葉を探したら「好事も無きに如かず」というのがありました。「良いことがあれば必ず悪いこともある。良いことや喜ばしいことでも初めからない方がむしろ良い」という意味です。これは禅の言葉で「たとえ良いことであってもあればあったで煩わしいものである。人生は何事もなく平穏無事であることが最も望ましいというたとえ」です。浅い発想で考えたことでしたが、深い言葉でした。

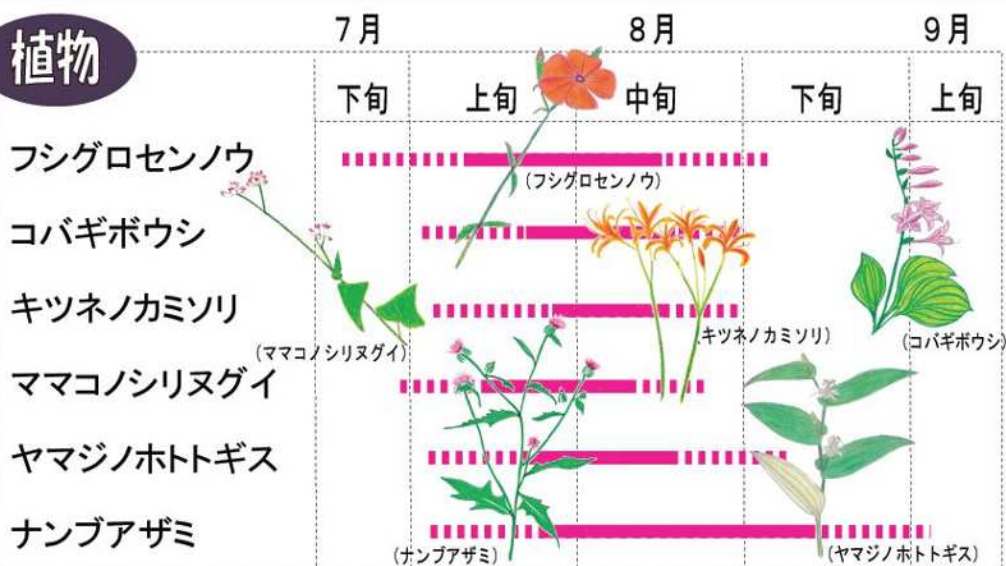
植物にとってはこの気候が、暑さの後に涼しくなったことで秋になったと勘違いしてしまったのか、秋の花がちらほらと咲き出し、まだ梅雨明け前なのにとびっくりしました。一方でいつもより開花期や出現が遅くなっているものもあります。夏の花と秋の花が同時期に見られて変な感じでした。早くなるものがあれば遅くなるものもある。自然って不思議ですね。

いつか仙台でも40℃の酷暑になる日が来るのでしょうか。そんな異常事態にならないことを祈るばかりです。暑さにも寒さにも弱いので、暑くも寒くもない4月ごろの気候が一番だと思ってしまいます。【レンジャー：新田隆一】



8月の生物ごよみ

植物

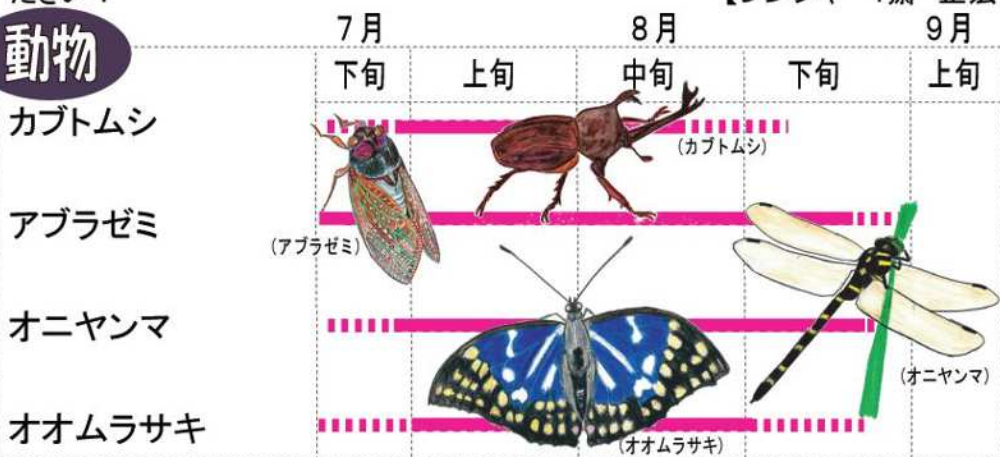


【イベント報告 夜の昆虫観察「ライトトラップ観察会」を開催しました】

7月18日(土)19時より、宮城県昆虫地理研究会の齋藤雄二氏を講師にお迎えし「ライトトラップ観察会」を開催しました。直前までの雨で開催が危ぶまれましたが、開始時にはぴたりと雨もやみ無事にスタート。定員20名のところ、70名を超えるご応募の中から27名の方にご参加いただきました。20時を過ぎると昆虫が一気に集まりはじめ、オオミズアオやヒメカマキリモドキなど、普段は珍しい昆虫たちの姿に「参加できて本当に良かった」「また来たい」と歓声が上がりました。好評につき8月22日(土)にもライトトラップ観察会を開催予定です。ぜひご参加ください！

【レンジャー：齋 正宏】

動物



森の「あれこれ」



「ツバメ・イワツバメ」



今年はもうツバメの姿を見かけましたか？
初夏から夏の終わりにかけ、家の軒や公共の建物、コンビニ等、人が多く出入りする場所で見られます。黒い背中に白いおなか、顔から喉にかけての赤茶色、カッコいい翼と細い燕尾（写真1枚目）が特徴。一生懸命子どもにエサを運ぶ親鳥の姿にほっこりしてしまいます。害虫を食べてくれるこの野鳥は昔から大切にされ、ツバメも人の近くで子育てをしてきました。



ところで観察の森ではもう一種イワツバメというツバメの仲間と出逢うことができます。ツバメよりも尾羽が短く、本来は高い山の崖などに住んでいましたが生活の範囲を市街地などに広げています。ぱっと見ただけでは見分けが難しいかもしれませんが、ツバメは背面全体黒いのに対し（写真2枚目）イワツバメは腰の部分が白い（3枚目）のがポイントです。さらによく観察すると尾羽や顔の模様、鳴き声も違います。



最後4枚目の写真は子育て終盤のイワツバメの様子です。ツバメの仲間は8月中ばを過ぎると子育てがひと段落し移動するようですが、それまでは観察の森駐車場の広い空で探すことができます。観察の森に来た際はほんの数分空を眺めるとそんなツバメの仲間たちの姿に出逢えるかもしれません。

【レンジャー：木田秀幸】

いきものの森



① 今年もまた出会えました、瑠璃色のボディが美しい「ルリボシカミキリ」です。②「オオゴキブリ」です、衛生害虫のゴキブリと違い、森の朽木を食べる野生種で、地域によっては絶滅危惧種に指定され、その生息環境は自然の保全状態が良好な証とされてます。③ 糞虫の仲間「ミヤマダイコクコガネ」と言います、意外と珍しいと言われますが、センターの前をトコトコ歩いてました。④「ツキヒーホシ、ホイホイホイ」と月・日・星と聞こえることから、「サンコウチョウ（三光鳥）」と呼ばれています、やっと撮影できました。



今年も暑い夏になりました、入道雲が沸き立つ青空を見ると、子どもの頃の夏休みを思い出します、私は関東のとある町で育ち、当時は都市化もまだ進んでおらず、自然も豊かで池や原っぱや森、干潟などで毎日楽しく遊んだ記憶があったのですが、再び訪れた時はもうその景色は全く残ってませんでした、今ある自然がこれから先も変わらなければいいと思います。

【レンジャー：菅井 潤】

イベント & お知らせ



◆「虫のいどころ」

- ・ 8月22日(土) 10:00 ~ 11:30
- 【対象】どなたでも (中学生以下は保護者と参加)
- 【申込み】Eメールにて 8月10日(月) 必着(抽選)

◆「夜の昆虫観察 ライトトラップ観察会」

- ・ 8月22日(土) 18:30 ~ 20:00
- 【対象】小学生以上 (中学生以下は保護者と参加)
- 【申込み】Eメールにて 8月15日(土) 必着(抽選)

◆「オトアの森・虫ガールズ観察会(秋編)」

- ・ 9月12日(土) 10:00 ~ 11:30
- 【対象】小学生以上の女性 (中学生以下は女性の保護者と参加)
- 【申込み】Eメールにて 8月28日(金) 必着(抽選)

◆「自然感さつ専科「ハチのガイド」」

- ・ 9月13日(日) 10:00 ~ 12:00
- 【対象】小学3年生以上 (中学生以下は保護者と参加)
- 【申込み】Eメールにて 8月31日(月) 必着(抽選)



※ 申込み専用メールアドレス taihaku@sendai-park.or.jp

自然観察の森の最新情報やイベントへのお申込み、
「森のおくりもの」バックナンバーはQRコードから



8月の休館日

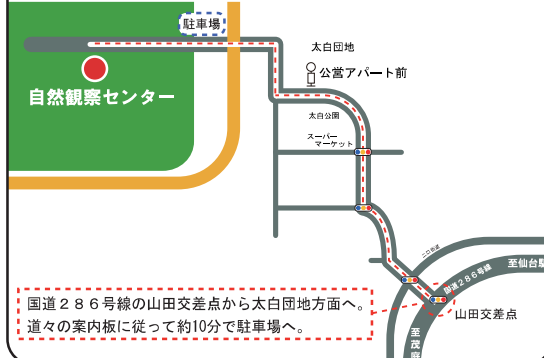
毎週月曜日(3日, 10日, 17日, 24日, 31日)

※月曜日が祝祭日の場合、翌日以降の平日が休館

駐車場から徒歩約5分で到着



自家用車の場合



国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。



宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間約40分
 - ② 長町駅東口 乗車時間約30分
 - ③ 八木山動物公園駅 乗車時間約10分
- ※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘經由仙台南ニュータウン行」
【行先】①②③「太白団地經由山田自由ヶ丘車庫行」乗車
いずれも 公営アパート前 下車→ 徒歩15分

2026年 4月号

発行: (公財) 仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133